

青島開発計画（通信）



青島市電信分公司

〔借款概要〕

承諾額/実行額	4,034百万円 / 2,547百万円
借款契約調印	1991年3月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年4月

〔事業概要〕

青島市において市内交換機を増設するとともに、中継伝送路・センター設備、加入者ケーブル等を整備することにより、通信網の拡充・近代化を図り、通信需要の増加に対処するもの。

〔評価結果〕

本事業においては、青島市の交換局7局を対象として93,000回線の交換機（回線数は需要見込の変化に対応して当初の8万回線から増加）を導入した他、光ケーブル・システム、加入者ケーブル（1,822km）等を設置した。これら設備の調達・据付は1991年から93年にかけて行われ、1994年から本格稼働を開始している。

同市の電話普及率の推移を見ると、1990年の1.7%に対し1995年に6.5%、2001年には27.8%となり、また、加入者回線数は1990年の6.0万から2000年には92.5万へと大幅に増加した。一方、積滞数は1990年には4.7万回線であったものが1999年までにゼロとなっており、本事業が同市の通信事情の改善に寄与したことが窺える。

なお、本事業により導入した交換機は、近年の急速な技術革新により、ブロードバンドの導入とネットワークの拡大への対応が困難となっているため、1998年以降順次更新されている。他の設備の運営・維持管理は適正に行われており、実施機関の技術力や人員配置に問題は見られない。